

# 10 研究推進部

## 平成30年度研究推進計画

### 1 研究主題，研究内容等について

#### (1) 研究主題

**【研究主題】** 主体的・対話的で深い学びをめざした学習指導の工夫  
～かかわりあう必然性のある授業づくりを通して～

#### (2) 主題設定の理由

平成32年度から全面実施される学習指導要領の改訂では、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成すること、知・徳・体にわたる「生きる力」を育むことが求められている。そのために、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有し、「主体的・対話的で深い学び」という視点での授業改善が求められている。

本校では、昨年度まで研究主題を「主体的・対話的で深い学びをめざした学習指導の工夫」とし、「かかわり合いを重視した授業改善」と「課題発見解決学習の流れと児童の思考の流れを意識した学習指導の工夫」を進めながら外国語活動と道徳の時間を基盤にし、授業改善に取り組んできた。学習指導をしていくうえで、前時とのズレを生かした学習課題の設定や、関連付け、比較、類推を意識した授業構成を行ってきた。その結果、海田町標準学力調査では、全学年活用問題で全国平均を上回った。これは、活用力の中心である思考力・表現力を育成した成果と言える。また、かかわり合いについては、かかわり合う必然性のある場面において、児童同士が自分の考えをもち、交流する場を設定した。これにより、必ずかかわり合う状況はつくることができた。しかし、一方で、表面的なかかわりあいになることが多かった。かかわり合うことにより、学びが広がったり、深まったりすることには課題がある。さらに、教師間でも、「かかわりあう必然性とは何なのか」ということを共通の認識としてもつことができていない。

これらの実態を踏まえ、これまでの取組の深化を図りながら、さらに主体的・対話的で深い学びをめざした取組を継続して推進していく必要がある。そのために、本年度は、外国語活動を中心に、かかわりあう必然性のある場面を設定し、「何のために学ぶのか」、「何のためにかかわり合うのか」ということを明らかにすることで、児童が主体的に取り組める指導工夫をする。かかわり合うことで、深い学びを実現し、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力や人間性などの資質能力がバランスよく身に付くようにしたい。そのためにも、目的を明確にし、児童の思考の流れに沿って教材研究を行い、これまでに積み上げてきた教育実践をよりよいものに改善していく。

このように、各教科・領域等の特性を踏まえたうえで、かかわりあう必然性がもてるような学習指導の工夫をしていくことにより、研究主題「主体的・対話的で学びをめざした学習指導の工夫」にせまっていきたい。

#### (3) 研究仮説

外国語活動を中心に、かかわりあう必然性のある授業づくりを行い、児童が深く学んだ姿を明確にすることができれば、一人一人が主体的・対話的に学ぶ力が向上し、思考力・判断力・表現力を育み、知・徳・体にわたる「生きる力」を育むことができるだろう。

#### (4) 研究内容

##### ①かかわりあう必然性をもたせる授業づくり

- ・実生活とのつながりを意識する単元や学習活動の工夫
- ・教材との出合わせ方の工夫（思考のズレを生む学習問題の工夫）
- ・ペアやグループでの学び合いの充実（意図的・計画的な他者とのかかわりの中で新たな視点をもたせ、考えの変容を促す）
- ・学習の見通しのもとせ方の工夫（既習や体験とつなげて課題をもつ等）
- ・学習活動の充実（学習したことを振り返り、共有する等）
- ・児童による評価の質の向上（自己，他者）
- ・個や集団の学びの質や深まりを把握するための評価の工夫

##### ②思考力・判断力・表現力を高める深い学びをめざした学習活動の充実

- ・体験から感じ取ったことを表現する。
- ・互いの考えを伝え合い，自らの考えや集団の考えを発展させる。（多様な考え方，感じ方に出合わせ，自分とのかかわりから考えを深めさせる。）
- ・理由や思考のプロセスを書くことの習慣化
- ・個の考え，他の考え，新たな個の考えを書く習慣化

##### ③主体的・対話的に活動できる学習基盤づくり

- ・学習規律の定着
- ・基礎・基本の定着
- ・共感的・協働的な学級集団づくり

## 2 研究の方法

### (1) 理論研修（研究主題に関わる共通認識）

### (2) 授業研究（全教職員1人1回以上実施）

- ・各学年で1つは全体研修とする。全体研修ではない学級は，ブロック研修とする。
- ・ブロックごと（1・3・5年部，2・4・6年部）で指導案検討をして修正をする。
- ・授業研究前には，模擬授業を行い，指導案の修正をする。（できるだけ多数で参観する。）
- ・外国語活動の授業研究を行う。ただし，専科や特別支援学級については，研究主題に沿うものであれば教科を問わない。
- ・全体研修の指導案は，起案後，学年部で印刷，配布する。講師の先生には2週間前に送付する。

## 3 検証計画

### (1) 授業研究の検証（児童のノートやワークシート等，授業記録）

### (2) 児童の意識調査の実施と分析

### (3) 教職員の意識調査の実施と分析

## 4 研究組織

